

(独)勤労者退職金共済機構理事長代理（建設業退職金共済事業担当）選任理由

本法人の使命は、中小企業の従業員の福祉の増進と中小企業の振興に寄与すること等を目的に、事業主の相互共済の仕組みにより、手軽で安心、確実な退職金制度を運営するとともに、勤労者の計画的な財産形成を促進することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、機構全体の業務運営に当たり理事長を補佐するとともに、建設業退職金共済事業本部に係る理事長の権限を代理し、併せて、職員を指揮監督し、迅速かつ確実な退職金支給のための各種取組や「新たな掛金納付方式」の導入の検討等を効果的に実施するとともに、「内部統制の強化」、「情報セキュリティ対策の推進」、「冗費の削減」など独立行政法人の経営運営改革に当たっての課題を的確に実施していくことが求められている。

本件公募に対しては、12人の応募があり、選考委員会による書類選考の結果3人に絞られたが、このうち1名が辞退したことから2名の候補者について選考委員会が面接を行った上で、稗田 昭人氏を最適任と認める旨の審査結果を、任命権者である理事長に提示したところ、理事長も同氏を最適任と判断したところである。

任命理由は、直接担当する建設業退職金共済事業について、建設業界の実情を十分踏まえ、関係者との意見の調整を図り、業務処理の簡素化・迅速化、加入促進対策の効果的实施などの課題に関する問題点や改善策を報告書として取りまとめるなど、本法人の有する各種課題の解決に向けて十分な経験を有し高いマネジメント能力やリーダーシップを発揮することが期待できることに加え、経営運営改革に強い意欲を示していることから、当機構の業務の更なる向上が期待でき、理事長の補佐役として最適任者であると判断したものである。